2026 年 5 月 18 日

各　位

会社名　株式会社 CINC
代表者名　代表取締役社長　石松 友典
（コード番号：東証グロース　4378）
問合せ先　経理財務部長　森田 栄一
（TEL：03-6822-3601）

GEO ツール『AIsearchmap（AI サーチマップ）』の無償提供を開始

当社は、生成 AI の普及に伴うユーザーの情報収集行動の変化に対応し、主要な大規模言語モデル（LLM）におけるブランドの言及状況や引用ドメインを可視化・モニタリングする新ツール「AIsearchmap（AI サーチマップ）」をリリースしたことをお知らせいたします。

詳細につきましては、添付のプレスリリースをご参照ください。

以　上

GEO ツール『AIsearchmap（AI サーチマップ）』を CINC が無償提供開始。競合他社との AI 上の「言及シェア（SoV）」を比較し、AI 推奨度を可視化・定点観測
～AI が自社をどう評価しているかモニタリング。誤情報の早期発見とブランド評価の改善、AI 検索最適化を推進～

株式会社 CINC（本社：東京都港区、代表取締役社長：石松友典、以下、CINC）は、生成 AI の普及に伴うユーザーの情報収集行動の変化に対応し、**主要な大規模言語モデル（LLM）におけるブランドの言及状況や引用ドメインを可視化・モニタリングする新ツール「AIsearchmap（AI サーチマップ）」**をリリースいたしました。

本ツールは、ChatGPT、Gemini、Perplexity、および Google の AI Mode・AI Overviews といった主要 LLM の回答結果を定期的に収集・モニタリングし、自社や競合ブランドがどのような文脈で、どの程度言及されているか（言及シェア＝Share of Voice）、およびどんなドメインがどれくらい引用されているかを定量的に可視化して、定点観測します。

従来の検索エンジン最適化（SEO）に加え、新たに台頭した AI 検索最適化（GEO/LLMO）という領域において、多くの企業が抱える「何から始めればいいか分からない」「AI からの自社の評価が把握できない」といった課題を解決します。

なお、本リリースにあわせ、本ツールを無償でご利用いただける「モニター利用」の申込受付を開始いたしました。審査制にて、AI 検索領域のマーケティングを先駆的に推進する企業様を支援いたします。



AIsearchmap（AI サーチマップ）とは？

「AIsearchmap（AI サーチマップ）」は、主要な LLM（ChatGPT、Gemini、Perplexity 等）がユーザーの問いに対して出力する回答データを蓄積・解析し、ブランドの露出実態や回答の参考にした引用元ドメインを可視化する「GEO/LLMO モニタリングツール」です。
自社および競合他社のブランドが LLM によってどのように認識され、推奨されているかを「言及シェア（SoV）」や「引用ドメインランキング」として抽出。単なる回答の収集に留まらず、グラフやランキング形式で分かりやすく競合との差を可視化します。また自社に最適なプロンプトを自動提案する機能も備えており、工数を削減しながら、AI 検索最適化（GEO/LLMO）の施策立案と実効を一気通貫でサポートする、次世代のマーケティングプラットフォームです。
［AIsearchmap のお申し込みはこちらから］

開発背景

1.ユーザー行動の劇的な変化と「意思決定の起点」の移動
ChatGPT を筆頭とする生成 AI の急速な普及により、ユーザーの情報収集は、従来の「検索キーワードを入力して検索結果上で比較する」から、「AI に直接問いかけ、統合された回答を得る」へと大きくシフトしています。LLM が購買活動やサービス比較の「意思決定の起点」となりつつある今、企業にとって LLM 上で自社がどのように紹介されるか/されているかは、事業成長を左右する死活問題となっています。
2.GEO/LLMO 領域における「計測不能」の壁
多くのマーケティング担当者は、AI 検索対策（GEO/LLMO）の重要性を認識しながらも、以下のような深刻な課題に直面しています。

- 実態把握の困難さ： LLM の回答は動的であり、個別の調査では全体像や推移を捉えることができない。
- 競合との比較不可： 自社が言及されているかは分かっても、競合と比較してどの程度の立ち位置にいるのか定量化できない。
- 工数の増大： 各 LLM に対して手動でプロンプトを入力し、回答を記録・分析する時間的・リソース的余裕がない。

3. CINC の知見を形に
SEO・AI 検索最適化ツール「Keywordmap」の開発・運用で培った膨大なデータ解析ノウハウと、数多くの企業のデジタルマーケティングを支援してきたコンサルティングの知見を融合。企業の担当者が迷うことなく、上記の課題を解決し、次の一手を打つための「地図（map）」となるツールとして、AIsearchmap は誕生しました。

AIsearchmap の機能

AIsearchmap は、AI 検索対策のファーストステップである自社と競合の AI による認識・評価を分析・モニタリングする以下の機能を備えています。

① 主要 LLM の回答結果を自動・定期収集（週次モニタリング）

ChatGPT、Gemini、Perplexity、AI Overviews、AI Mode といった現在主流となっている LLM の回答を自動で収集します。週次でデータが蓄積されるため、一時的な結果ではなく、中長期的なトレンドとしての露出状況を把握可能です。



② ブランド言及の自動検出と SoV（言及シェア）の可視化

収集した回答文の中から、自社および競合ブランドの名前を自動で検出します。集めたデータは、以下のように分かりやすく可視化します。

- SoV（Share of Voice＝言及シェア）の算出： 特定の質問（例：「都内でおすすめの不動産会社は？」）に対し、自社と競合がそれぞれ何%の割合で言及されているかをわかりやすくビジュアライズ。
- 言及数や SoV のモニタリング：自社や競合のブランド言及数、および SoV の推移を週次単位でモニタリングします。



③ 引用ドメイン（参照元）のランキング表示

LLM が回答を生成する際にソースとして参照したドメインを抽出し、参照数の多さをランキング形式で表示します。

- どのメディアや口コミサイトが、LLM の回答生成に強い影響を与えているかを特定：AI に言及されるために有効な媒体に対して掲載依頼やコンテンツ提携を行う際の優先順位を明確にします。



④ LLM 回答文の一覧表示

数値化されたデータだけでなく、実際の LLM の回答本文をそのまま確認できます。

- 回答内で自社が「ポジティブ」に語られているか、あるいは「誤った情報（ハルシネーション）」が含まれていないかをチェック。
- AI がどのような比較軸（価格、品質、サポート体制など）で各社を評価しているかを読み解きます。



⑤プロンプトジェネレーター機能

本ツールの強みの一つが、担当者の調査分析の工数を圧倒的に削減する「プロンプトジェネレーター」です。

- **プロンプトの自動生成：** 自社の「サービス名/ブランド名」と「ドメイン情報」を入力するだけで、LLM から有効な回答を引き出すための最適なプロンプトを自動生成します。
- **属人性の排除：** プロンプトエンジニアリングの専門知識がなくても、誰でも即座にモニタリングを開始できます。



活用イメージ

AIsearchmap は AI 検索最適化（GEO/LLMO）の次のような場面で活用することができます。

戦略の立案：ベンチマークすべき競合の特定とアプローチ先の特定

自社が LLM にほとんど言及されていない場合、SoV が高い競合他社を特定。その競合がどのドメインで引用されているかを分析し、自社のコンテンツ戦略の修正、およびアプローチ先の優先順位付けなどを行います。

施策の効果検証：GEO 施策のビフォーアフター

外部メディアへの寄稿や自社サイトの AI フレンドリー改善など、GEO 施策を行った結果、LLM の回答内容や言及シェアが週単位でどう変化したかを定量的にレポート。PDCA サイクルをスムーズに回せるほか、経営層やクライアントへの成果報告を円滑にします。

リスク管理：ハルシネーション（誤情報）の早期発見

AI が自社サービスについて「現在は提供していない旧プラン」や「誤った価格情報」など、自社が意図する表現と異なる回答をしていないか定期チェック。誤情報が広まる前に、参照元となっているサイトへの修正依頼や、公式情報の更新といった対策を講じることができます。

AIsearchmap を使う価値・メリット

LLM におけるブランド露出の「現在地」を可視化

感覚や手動の検索では不可能だった「AI 上の純粋想起」を定量化します。自社に関連する多様な質問（プロンプト）に対し、自社名が推奨される傾向を把握することで、ユーザーの新しい検索行動にもとづいたブランド認知度を正しく測定できます。

「何をすべきか」というアクションを明確化

引用数が多いドメインを特定することで、AI に推奨してもらうための「掲載すべき媒体」の優先順位が明白になります。限られた予算・工数・時間を、最も効果の高い媒体や施策へ集中投下することが可能になります。

工数削減と分析の再現性を確保

プロンプトジェネレーターによるプロンプト立案の自動化と週次レポートにより、調査・集計にかかる工数を大幅に削減。属人的な調査から脱却し、誰が担当しても同じ基準で AI 検索市場の動向と施策の効

果を追える体制を構築できます。

申し込みおよび利用条件について

AIsearchmap では、正式版の提供に先駆け、本ツールを無償で提供する「モニター利用」の参加企業を募集いたします。

モニター利用の概要

- 提供内容：AIsearchmap の機能を無償で提供（※無料版では、ChatGPT のデータ取得および分析が可能）
- 対象：法人のみ（個人、フリーランス、および競合他社の方は対象外となります）

審査について

本ツールは審査制となっております。お申し込みいただいた後、以下の項目に基づき、弊社基準にて総合的に判断させていただきます。

- 利用目的（どのように GEO/LLMO 施策へ活用されるか）
- 利用規模および事業領域

まずはお気軽に以下のリンクからお申し込みください。

[GEO ツール『AIsearchmap』のモニター利用に申し込む]

サービスサイト：https://aisearchmap.jp/

今後の展望

すでに LLM を主戦場としたマーケティングの競争は始まっています。 CINC は「AIsearchmap」を通じて、企業がこの新しい変化をリスクではなく「機会」として捉えられるよう支援してまいります。今後は、AI 検索最適化（GEO/LLMO）を推進するすべての担当者様の力になれるよう、ナレッジ・ノウハウの強化、有益な情報の発信、新機能・ツールの開発を進めていく予定です。私たちは、データとテクノロジーを駆使し、あらゆる企業の「マーケティングの成功」を支援する一気通貫のパートナーであり続けます。

【会社概要】

「マーケティングソリューションで、日本を代表する企業へ。」をビジョンに掲げ、ビッグデータの活用を強みとした Web マーケティングのツール開発からマーケティングコンサルティングを展開しています。独自のデータ収集技術、AI・機械学習技術と、データ解析の知見を基に、誰もが・短時間で・簡単に・高度なビッグデータ解析ができるツールの開発・提供、プロフェッショナルが戦略立案から実行支援まで一気通貫で伴走するマーケティングコンサルティングの提供を通じて、クライアントのビジネスの成長に貢献します。

会社名：株式会社 CINC（シンク）（東証グロース 証券コード：4378）

代表者：代表取締役社長　石松友典

設立：2014 年 4 月

本社：東京都港区虎ノ門 1 丁目 21-19 東急虎ノ門ビル 6 階

事業内容：

（1）ソリューション事業

（2）アナリティクス事業

（3）M&A 仲介事業（株式会社 CINC Capital）

会社ホームページ：https://www.cinc-j.co.jp

SEO・GEO ツール『Keywordmap』：https://keywordmap.jp/

採用情報：https://www.cinc-j.co.jp/recruit/

運営メディア「Marketing Native」 ：https://marketingnative.jp/

Tech Blog：https://cincdevteam.hatenablog.com/